

## 平成29年度北海道原子力防災訓練について（案）

平成29年 6 月 現在

## 1 訓練の目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

## 2 主 催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（道及び13町村）

## 3 実施時期

平成30年2月上旬（2日間で実施）

- ・ 第1日目：図上訓練（OFCや道町村災対本部等による防護対策の意思決定訓練）
- ・ 第2日目：実動訓練（住民の参加・協力による避難訓練など）

## 4 訓練内容（主なもの）

国の災害対策指針で定められた避難の判断基準（EAL, OIL）に基づく、段階的な住民避難を円滑に行うため、道として、以下の訓練の実施に向け、関係機関と調整中。

## 〔第1日目〕

項 目	主 な 内 容
■ 緊急事態応急対策拠点施設（OFC）運営訓練	○ 国、道、町村等の要員が参集し、OFCで指揮所訓練を実施
■ 災害対策本部等運営訓練	○ 道庁地下1階危機管理センターに指揮室を設置 ○ 国、道、町村の災害対策本部運営

## 〔第2日目〕

■ 住民避難訓練	○ 住民の30km圏外への段階的な避難の実施 PAZ（泊村、共和町） UPZ（一部地域）
複合災害を想定した避難	○ 実動機関による住民避難の支援 ○ 家屋倒壊等に伴う避難所の開設・運営
要配慮者避難	○ 学校・社会福祉施設などへの通報連絡 ○ 福祉車両等による避難 ○ 在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避
観光客避難	○ 観光客の避難に係る対応手順等の確認
一時滞在場所設置・運営（避難受入自治体）	○ 受入マニュアル等に基づく初動対応の確認 ○ 避難住民の受付・誘導手順の確認
道路渋滞対策	○ 渋滞予測箇所における迂回路誘導
■ 原子力災害医療活動訓練	○ 避難退域時検査及び簡易除染の実施 ○ 安定ヨウ素剤（模擬）の緊急配布
■ 緊急時環境放射線モニタリング訓練	○ UPZ圏内において要員によるモニタリング活動を実施